

## ご 挨拶

第 17 回日本がん予防学会

会長 浅香 正博（北海道大学医学研究科第三内科）

第 33 回日本がん疫学研究会・第 11 回日本がん分子疫学研究会

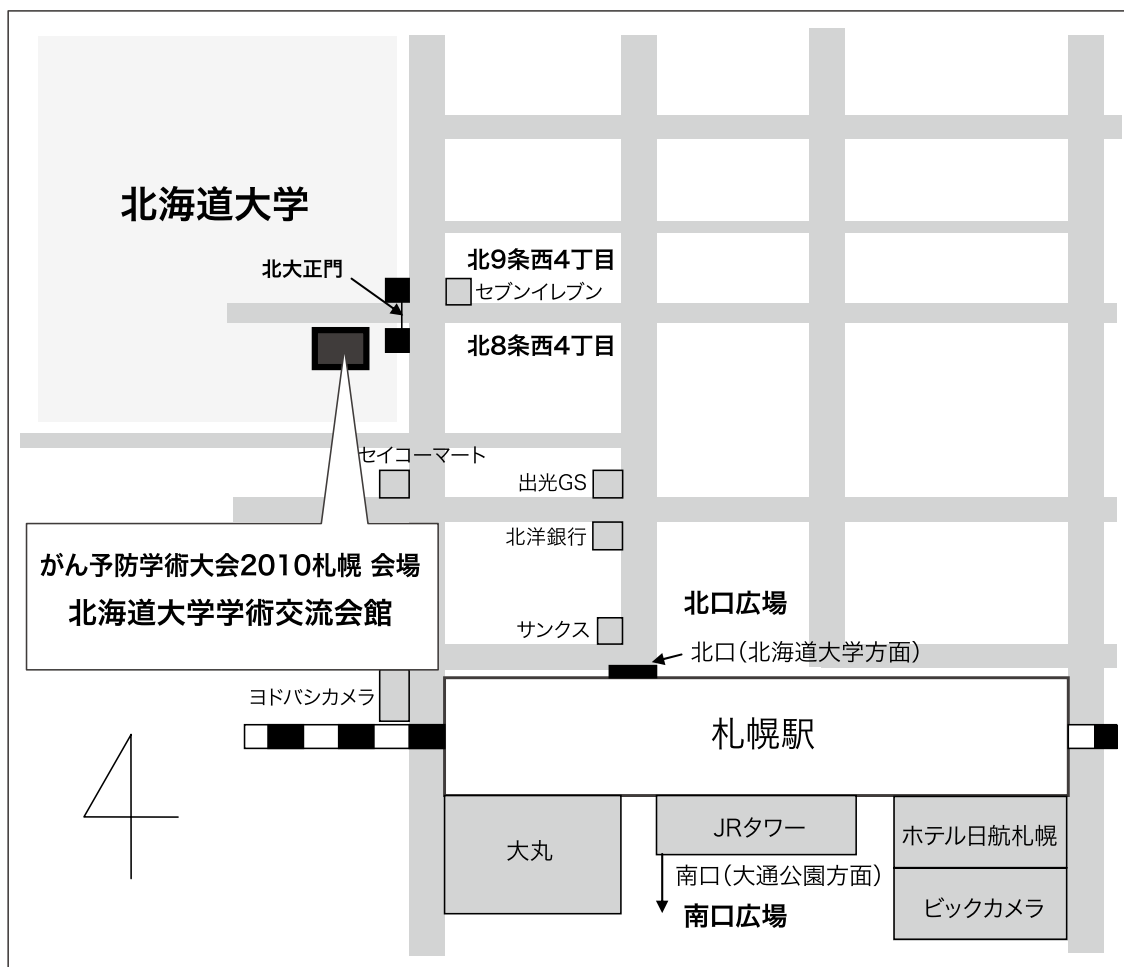
会長 森 満（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座）

この度、第 17 回日本がん予防学会、第 33 回日本がん疫学研究会および第 11 回日本がん分子疫学研究会を札幌で開催させていただけることを大変光栄に存じます。「がん予防学術大会 2010 札幌」として合同で開催致す予定です。このような合同開催は、東京、福岡、愛知に次いで 4 回目となり定着しつつあるように思います。今回は、日本がん疫学研究会と日本がん分子疫学研究会の合併も話題の一つになると思います。

日本人男性の 2 人に 1 人、日本人女性の 3 人に 1 人が 75 歳までにがんに罹患する時代であることが示されています。このような時代のがん予防の目標は、がんに罹患しないようにすることとともに、がんに罹患する年齢を少しでも遅くすることではないかと思えます。そのためには、基礎医学、臨床医学、および、疫学の研究者が力を合わせて、がん予防に取り組まなければならない、今回のメインテーマ「がんの予防：基礎・臨床・疫学の垣根を越えて」もその方向性をはっきりと打ち出しています。特別講演、招聘講演、および、シンポジウムもそのようなメインテーマに符合するように、各方面の先生にご依頼申し上げました。一般演題につきましても、いろいろな分野の第一線でご研究、ご活躍中の皆様が演題をお出しいただき、ご発表下さいますようお願い致します。

7 月の北海道は一年を通して最もよい季節です。学会が終了する週末には是非いまだ訪れたことのないような道北、道東、あるいは、道南にも足を伸ばしていただいて、短い北海道の夏を満喫していただければ幸いです。そして、美しい北国の夏景色をご覧になり新鮮な道産食品を味わっていただき、いまだに不況から抜け出せないでいる北海道経済を少しでも救っていただきたく思います。多くの先生方にご参加下さいますよう心からお待ち申し上げます。

## 交通案内



### 新千歳空港から札幌駅までのアクセス

#### ■ JR線

快速エアポート…約40分

#### ■ 高速バス

札幌市内行…約1時間10分

### 札幌駅から会場までのアクセス

会場：北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目）

#### ■ JR線

札幌駅北口…徒歩10分

#### ■ 地下鉄南北線・東豊線

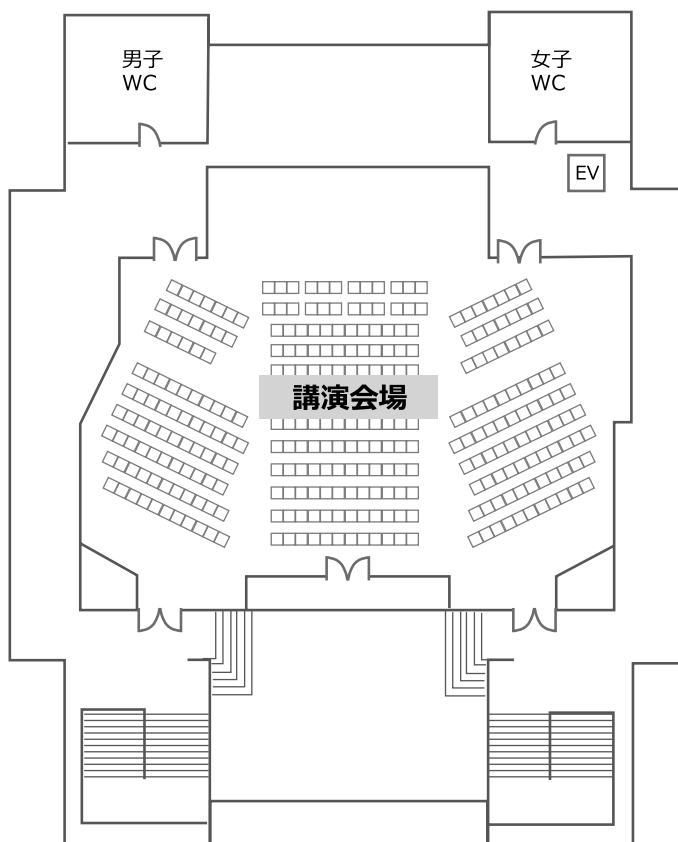
さっぽろ駅…徒歩10分

#### ■ バス《中央バス・JRバス》

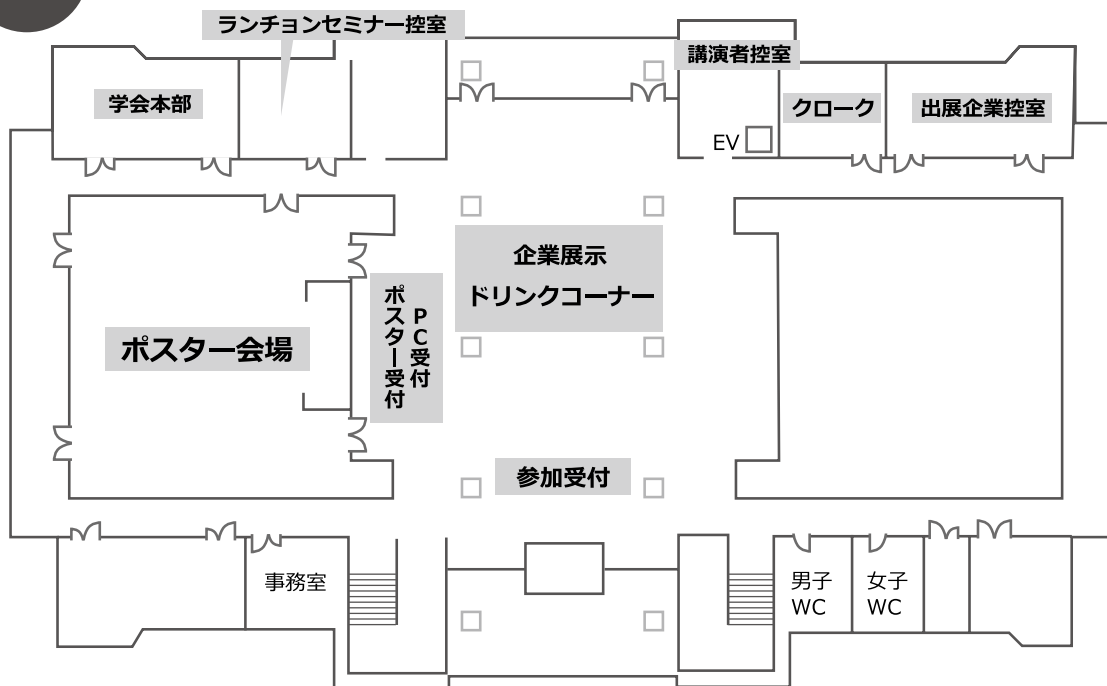
北大正門前

# 会場案内

2F



1F



北海道大学学術交流会館

〒060-0811 北海道札幌市北区北8条西5丁目

TEL 011-706-2141

## 参加者へのご案内

---

### 受付時間

第1日目 7月15日(木) 8:45～18:00

第2日目 7月16日(金) 8:45～16:00

### 受付場所

北海道大学学術交流会館 1階ロビー

### 事前登録をされていない方

当日参加費 一般 7,000円 大学院生 3,000円 学部学生 無料

受付でお支払いの上、抄録集とネームカードをお受け取りください。

学生の方は学生証を受付にてご提示ください。

### 抄録集

一冊は参加費に含まれます。他に必要方には3,000円で販売いたします。

事前に登録をされた方は、抄録集をネームカードと一緒に受付にてお渡しいたします。

### ランチョンセミナー

ランチョンセミナーは1日目、2日目共に2階講堂にて開催いたします。

整理券制ではございません。

### 懇親会

7月15日(木) 19:00～21:00

エンレイソウ

北海道大学敷地内 TEL:011-726-7601

懇親会費 5,000円(当日参加申込可能)

### その他

- ・会期中はネームカードを必ずお付けください。
- ・クロークを1階にご用意します。
- ・原則として会場内での呼び出しは行いません。
- ・会場内でのカメラ撮影ならびに携帯電話、PHSのご使用はご遠慮ください。

## 発表者へのご案内

---

### PC受付

- 第1日目 7月15日(木) 8:45～18:00  
第2日目 7月16日(金) 8:45～16:00

### 口演発表の方へ

- 1)発表時間はそれぞれのセッションで異なります。事前にお知らせします。
- 2)当日は発表予定時刻の30分前まで(最初のセッションセッションの方は15分前まで)にPC受付までお越しください。
- 3)発表はすべてPCプレゼンテーションになります。ノートパソコン本体(Windows, Macintosh)もしくは、USBフラッシュメモリまたはCD-R(Windows)で発表データを持参ください。なお、Macintoshや動画をご使用される場合はご自身のPCをお持ち込みください。

### 【ノートパソコン持参の場合】

MacintoshおよびWindowsの動画使用の場合は、ご自身のPCをお持ち込みください。

- 1)会場で用意するコネクタの形状は、ミニD-sub15pinです。この端子がないパソコンをお持ちになる場合には、別途変換コネクタをご用意ください。
- 2)発表データのファイル名は「(演題番号)(氏名).ppt」としてください。
- 3)事前に、使用するパソコンでの動作確認をお願いします。
- 4)パソコンの電源アダプターは必ずご持参ください。
- 5)万一のトラブルに備え、バックアップ用のデータをUSBフラッシュメモリまたはCD-Rに保存してください。
- 6)PC本体のパスワード、スクリーンセーバー、省電力設定の解除をしてください。
- 7)演台上にモニターとリモートマウスをご用意しておりますので、発表時の操作はご自身でお願いいたします。



### 【メディア(USBフラッシュメモリ、CD-R)持参の場合】

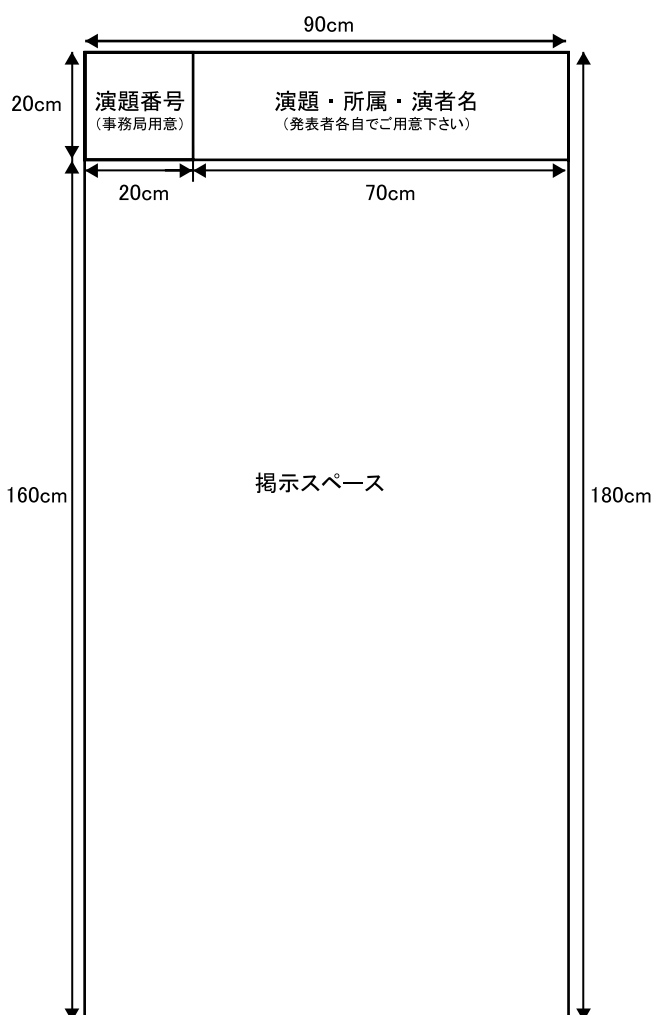
- 1)会場にご用意するパソコンはWindowsです。Macintoshには対応できませんので、ご注意ください。
- 2)Windows版PowerPoint2003以降で作成または動作確認したファイルをご持参ください。
- 3)発表データはUSBフラッシュメモリまたはCD-Rに保存してご持参ください。  
ファイルサイズの上限は700MB(CD-R 1枚以内)です。動画・音声を含むファイルはご遠慮ください。
- 4)発表データのファイル名は「(演題番号)(氏名).ppt」としてください。
- 5)文字フォントはPowerPointに設定されている標準的なフォントをご使用ください。  
MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝  
Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Times New Roman
- 6)発表データは会場内のパソコンにコピーさせていただきますが、会期終了後に主催者の責任で破棄致します。

## ポスター発表の方へ

ポスター発表は発表4分、討論3分です。進行は座長の指示に従ってください。

	掲 示	発 表	撤 去
7月15日(木)	9:00～10:30	15:15～15:50	15:50～17:30
7月16日(金)	9:00～10:30	14:20～14:55	14:55～16:30

- 1) 発表者の方は上記の掲示時間帯に「ポスター受付」にて受付を済ませ、所定の場所に掲示してください。
- 2) 演題ごとに演題番号を付けたパネル横90cm×縦180cmを用意します。演題番号は事務局にて用意いたします。パネルの規格に従って演題タイトル、所属名、演者名、発表内容のポスターをご用意ください。
- 3) ご自身の発表の10分前には各自のパネル前で待機してください。
- 4) 円滑な進行のため、発表時間をお守りください。
- 5) 所定の時間内にポスターを撤去してください。撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは事務局にて処分させていただきます。



1日目 2010年7月15日(木)

口演会場 (2階講堂)		ポスター会場 (1階第一会議室)	
8:50			
9:00	開会式		
	シンポジウム「胃癌予防の最前線」 司会：菊地正悟 加藤元嗣	9:00	ポスター掲示
11:00	招聘講演 司会：森満 演者：赤座英之	10:30	ポスター閲覧
11:40			
12:00	ランチョンセミナー1 「ピロリ菌の除菌と胃癌予防」 司会：菅野健太郎 演者：上村直実 共催：エーザイ株式会社		
13:00	日本がん疫学研究会総会		
13:45	日本がん分子疫学研究会総会		
14:30	特別講演 司会：富永祐民 演者：杉村隆		
15:10		15:15	ポスター発表
16:10	シンポジウム「乳がんなどの女性ホル モン依存性がんのリスク要因に関する 疫学的・分子疫学的研究」 司会：田島和雄 中地敬	15:50	ポスター撤去
18:30		17:30	
19:00	懇親会 会場：エンレイソウ (北海道大学敷地内)		

2日目 2010年7月16日(金)

口演会場 (2階講堂)	
9:00	シンポジウム 「身近な環境発癌：ナノ粒子」 司会：津田洋幸 樋野興夫
11:30	指名講演 司会：北川知行 演者：小林博、溝上哲也
12:00	ランチョンセミナー 2 「新しい進行大腸がんの治療」 司会：橋野聡 演者：小松嘉人 共催：武田薬品工業株式会社
13:00	日本がん予防学会評議員会
13:45	日本がん予防学会総会
14:15	
15:15	ワークショップ 「米由来物質のがん予防作用」 司会：森秀樹
16:25	

ポスター会場 (1階第一会議室)	
9:00	ポスター掲示
10:30	ポスター閲覧
14:20	ポスター発表
14:55	ポスター撤去
16:30	



# プログラム

第1日 7月15日(木)

8:50

開会の辞

9:00~11:00

シンポジウム「胃癌予防の最前線」

司会 菊地 正悟(愛知医科大学医学部公衆衛生学講座)  
加藤 元嗣(北海道大学病院光学医療診療部)

S1-1 分子疫学からみた胃癌予防

篠村 恭久(札幌医大・第一内科)、鈴木 拓(札幌医大・第一内科、生化学)、山本 英一郎(札幌医大・生化学、第一内科)、豊田 実(札幌医大・生化学)

S1-2 疫学からみた胃癌予防

菊地 正悟(愛知医科大学・医学部・公衆衛生学)

S1-3 動物モデルから見た胃癌予防

野崎 浩二<sup>1,2</sup>、荒川 義弘<sup>2</sup>、瀬戸 泰之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大学医学部附属病院 胃食道外科、<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター)

S1-4 *H.pylori* 除菌を基にした胃癌予防戦略

加藤 元嗣、小野 尚子(北海道大学病院光学医療診療部)、浅香 正博(北海道大学消化器内科)

S1-5 胃癌A,B,C,(D)リスク別検診

三木 一正(日本胃がん予知・診断・治療研究機構 理事長)

11:00~11:40

招聘講演

司会 森 満(札幌医科大学医学部公衆衛生学講座)

前立腺癌の化学予防

赤座 英之(東京大学先端科学技術研究センター)

12:00~13:00

ランチョンセミナー 1

司会 菅野 健太郎(自治医科大学消化器内科)

ピロリ菌の除菌と胃癌予防

上村 直実(国立国際医療研究センター国府台病院)  
共催 エーザイ株式会社

13:00~13:45

日本がん疫学研究会総会

13:45~14:30

日本がん分子疫学研究会総会

14 : 30 ~ 15 : 10

**特別講演**

司会 富永 祐民(愛知県がんセンター名誉総長)

**がん予防の重要性**

杉村 隆(日本学士院幹事)

15 : 15 ~ 15 : 50

**ポスター発表**

**疫学 1**

座長 玉腰 暁子(愛知医科大学医学部公衆衛生学)

**P01-1 日本多施設共同コホート研究(J-MICC Study)大幸研究ベースライン調査の概要**

森田えみ,若井 建志,栗木砂 家加,富田 耕太郎,田村 高志,青山 京子,伊藤 宜則,岡田 理恵子,川合 紗世,菱田 朝陽,内藤 真理子,浜島 信之(名古屋大学・予防医学),大西 丈二(名古屋大学・総合保健体育科学センター),堀 容子,塚本 早苗(名古屋大学・保健学科),濱本 律子,杉山 晃子(名古屋大学大学院医学系研究科),近藤 高明,上山 純,木全 明子,山本 佳那実,廣澤 奈緒子,一ノ谷 英憲,岡本 優人,田中 哲也(名古屋大学・医療技術学)

**P01-2 分子疫学コホート研究における凍結血液検体保管システムの構築**

江口 英孝(埼玉医大・TRC)、若井建志(名大・予防医学)、岡田 理恵子(名大・予防医学)、内藤 真理子(名大・予防医学)、浜島 信之(名大・予防医学) for J-MICC study

**P01-3 中年期における体重変化とがん死亡との関連—JPHCスタディより—**

南 里明子、溝上 哲也(国立国際医療センター研究所・国際保健医療研究部)、高橋 義彦、野田 光彦(国立国際医療センター戸山病院・糖尿病代謝症候群診療部)、井上 真奈美、津金 昌一郎(国立がんセンター・がん予防検診研究センター・予防研究部)

**P01-4 イソフラボン摂取と肺がんリスク (JPHC Study)**

島津 太一、井上 真奈美、笹月 静、岩崎 基、澤田 典絵、山地 太樹、津金 昌一郎(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター予防研究部)

**P01-5 エタノール摂取量と乳がん罹患の関連:厚生労働省研究班による多目的コホート (JPHC研究) より**

鈴木 礼子,岩崎 基,井上 真奈美,笹月 静,澤田 典絵,山地 太樹,島津 太一,津金 昌一郎(国立がん研究セ・予防研究部)

**疫学 2**

座長 若井 建志(名古屋大学大学院医学系研究科予防医学)

**P02-1 わが国における非ステロイド系抗炎症剤 (NSAIDs) およびスタチンの習慣的利用の分布に関する研究**

溝田 友里、山本 精一郎(国立がん研究センターがん対策情報センター)

**P02-2 胃・十二指腸潰瘍の既往歴と膵がん死亡との関連**

林 櫻松、玉腰 暁子、柳生 聖子、菊地 正悟(愛知医科大学・医学部・公衆衛生学) 黒沢 美智子(順天堂大学・医学部・衛生学) for the JACC Study Group

**P02-3 日本人男性における血清PSAと交替制勤務の関連：日本多施設共同  
コーホート研究(J-MICC Study) 静岡地区における検討**

内藤 真理子、西尾 和子、石田 喜子、菱田 朝陽、森田 えみ、川合 紗世、岡田 理恵子、若井 建志、浜島 信之(名大・院医・予防医学)、玉腰 暁子(愛知医大・公衆衛生)、浅井 八多美、鈴木 ます美、友田 あき子、桑原 真弓、深田 裕子、中村 月乃、岡本 あゆみ、池田 佳名子、三須 寧子、片瀬 史朗、徳増 諭、鈴木 妃佐子、大石 早知絵(聖隷福祉事業団)

**P02-4 「青少年の携帯電話利用と健康の全国コホート調査」の進捗状況**

佐藤 康仁(東京女子医大・公衆衛生学)、山口 直人(東京女子医大・公衆衛生学)、携帯電話利用と健康の疫学調査ワーキンググループ

**P02-5 糖尿病診断歴とがん罹患リスクー歯科医師コホート研究 (LEMONADE Study) による検討ー**

若井 建志、内藤 真理子(名大院・医・予防医学)、内藤 徹(福岡歯大・総合歯科学)、川村 孝(京大保健管理セ)、小島 正彰(愛知県歯科医師会)、中垣 晴男(愛知学院大・歯・口腔衛生学)、梅村 長生(愛知三の丸病院・歯科口腔外科)、横田 誠(九州歯科大学・歯周病制御再建学)、花田 信弘(鶴見大・歯・探索歯学)

**疫学 3**

座長 小笹 晃太郎(放射線影響研究所疫学部)

**P03-1 名古屋市民におけるピロリ菌感染状況**

田村 高志、森田 えみ、栗木 砂家加、富田 耕太郎、青山 京子、伊藤 宜則、岡田 理恵子、川合 紗世、菱田 朝陽、内藤 真理子、若井 建志、浜島 信之(名古屋大・院医・予防医学)、大西 丈二(名古屋大・総合保健体育科学センター)、堀 容子、塚本 早苗(名古屋大・保健学科)、濱本 律子、杉山 晃子(名古屋大・院医)、近藤 高明、上山 純、木全 明子、山本 佳那実、廣澤 奈緒子、一ノ谷 英憲、岡本 優人、田中 哲也(名古屋大・保健・医療技術学)

**P03-2 健康な日本人の集団における飲酒状況と*H.pylori*感染との関係**

川合 紗世、森田 えみ、栗木 砂家加、富田 耕太郎、田村 高志、青山 京子、伊藤 宜則、岡田 理恵子、菱田 朝陽、内藤 真理子、若井 建志、浜島 信之(名古屋大・院医・予防医学)、大西 丈二(名古屋大・総合保健体育科学センター)、堀 容子、塚本 早苗(名古屋大・保健)、濱本 律子、杉山 晃子(名古屋大学・院医)、近藤 高明、上山 純、木全 明子、山本 佳那実、廣澤 奈緒子、一ノ谷 英憲、岡本 優人、田中 哲也(名古屋大・保健・医療技術学)

**P03-3 内臓脂肪体積と大腸腺腫との関連**

山地 太樹、岩崎 基、笹月 静、澤田 典絵、津金 昌一郎(国立がん研究セ・予検セ・予防)、鈴木 雅裕、森山 紀之(国立がん研究セ・予検セ・検診開発)、武藤 倫弘、若林 敬二(国立がん研究セ・研・がん予防基礎研究)

**P03-4 内視鏡的大腸腺腫摘除による大腸癌予防効果の検討**

石川 秀樹、酒井 敏行(京都府立医科大学 分子標的癌予防医学)

**P03-5 被爆者における1950-2003年のがん死亡の放射線リスク**

小笹 晃太郎、清水 由紀子、笠置 文善、Eric J Grant、坂田 律、杉山 裕美、早田 みどり、陶山 昭彦(放射線影響研究所・疫学部)

遺伝子・がん対策 1 座長 菱田 朝陽(名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学教室)

P04-1 原爆被爆者における放射線被曝と結腸直腸発がん遺伝的感受性の検討  
—CD14遺伝子多型—

林 奉権、吉田 健吾、森下 ゆかり、牧 真由美、佐々木 圭子、長村 浩子、今井 一枝、楠 洋一郎、中地 敬(放射線影響研究所、放射線生物学/分子疫学部)

P04-2 日本人における染色体15q25, 5p15上の遺伝子多型と肺癌リスクとの関連

伊藤 秀美、松尾 恵太郎、細野 覚代、田中 英夫、田島 和雄(愛知県がんセンター研究所・疫学・予防部)

P04-3 閉経後子宮体がん罹患リスクに対するCYP19A1 遺伝子多型と肥満との交互作用について

細野 覚代、松尾 恵太郎、伊藤 秀美、川瀬 孝和、渡邊 美貴、田島 和雄、田中 英夫(愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部)、広瀬 かおる(愛知県衛生研究所 企画部)、中西 透(愛知県がんセンター中央病院 婦人科)

P04-4 ヒト血球DNAのメチル化解析による新規がん感受性診断法の開発

湯浅 保仁、長崎 弘美、秋山 好光(東医歯大・分子腫瘍医学)、尾瀬 功、松尾 恵太郎(愛知がんセ・疫学・予防部)

P04-5 日本人におけるTLR2-196to-174del遺伝子多型とピロリ菌感染、胃粘膜萎縮、胃がん発症リスクに関する検討

菱田 朝陽、後藤 康幸、内藤 真理子、若井 建志、浜島 信之(名古屋大・院医・予防医学)、松尾 恵太郎、田島 和雄(愛知がんセ・研・疫学予防部)

遺伝子・がん対策 2 座長 三上 春夫(千葉県がんセンター研究局・がん予防センター)

P05-1 乳癌の遺伝子発現プロファイリングに基づく病型分類(Intrinsic Subtype)と予後

増岡 秀次、山崎 弘資、下川 原出、浅石 和昭(札幌ことに乳腺クリニック)、坂内 文男、森 満(札幌医大公衆衛生学)

P05-2 千葉県における遺伝子多型解析に対する意識調査

横井 左奈、李元 元、大平 美紀、三上 春夫、藤本 修一、中村 洋子(千葉県がんセンター・研究局)、佐藤 眞一(千葉県衛生研究所)、月崎 喜洋子(市原市保健センター・特定健診班)、山崎 晋一郎(千葉県・健康福祉部・健康づくり支援課)、藤澤 武彦(ちば県民保健予防財団)、中川 原章(千葉県がんセンター)

P05-3 札幌医科大学附属病院院内がん登録データの分析

野島 正寛<sup>1,2</sup>、村上 千穂子<sup>1</sup>、坂内 文男<sup>2</sup>、森 満<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup> 札幌医科大学附属病院がん登録室) (<sup>2</sup> 札幌医科大学公衆衛生学講座)

P05-4 重症心身障害者のがん対策

本莊 哲(国立病院機構福岡病院・小児科)

- P05-5 「発病」、「発症」、「罹患」などの用語指針を日本がん疫学研究会が検討し公表できないか  
福田 勝洋(久留米大学)、三宅 浩次(札幌医科大学)

16:10~18:30

シンポジウム「乳がんなどの女性ホルモン依存性がんのリスク要因に関する疫学的・分子疫学的研究」  
司会 田島 和雄(愛知県がんセンター研究所)  
中地 敬(放射線影響研究所)

- S2-1 高山コホート研究(Takayama Study)の結果から  
永田 知里(岐阜大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学分野)
- S2-2 女性ホルモン依存性がんのリスク要因に関する疫学研究；文部科学省科学研究費がん特定領域大規模コホート研究JACC Studyの結果から  
坂内 文男、野島 正寛、森 満(札幌医科大学医学部,公衆衛生学講座)、若井 建志(名古屋大学大学院医学系研究科,予防医学/医学推計・判断学)、玉腰 暁子(愛知医科大学,公衆衛生学講座)
- S2-3 多目的コホート研究(JPHC 研究)からのエビデンス  
岩崎 基(国立がんセ・予検セ・予防)
- S2-4 Joint Effects of Radiation and Serum Estradiol on Pre- and Postmenopausal Breast Cancer Risk in Female Atomic-bomb Survivors: Nested Case-control Study Involving an Intermediate Factor  
John Cologne (Radiation Effects Research Foundation [RERF], Statistics), Eric Grant (RERF,Epidemiology), Amy Berrington (US NCI, Radiation Epidemiology), Kazuo Neriishi (RERF,Clinical Studies), and Kei Nakachi (RERF, Radiobiology/Molecular Epidemiology)
- S2-5 乳がんに関する分子疫学研究：愛知県がんセンター症例対照研究(HERPACC Study)の結果から  
松尾 恵太郎(愛知県がんセンター研究所・疫学予防部)

19:00

懇親会 (エンレイソウ)

第2日 7月16日(金)

9:00~11:30

シンポジウム「身近な環境発癌:ナノ粒子」

司会 津田 洋幸(名古屋市立大学特任研究室)  
樋野 興夫(順天堂大学医学部 病理・腫瘍学)

S3-1 ナノ粒子の発がんリスク

津田 洋幸(名古屋市立大学・特任研究室)、二口 充(名古屋市立大学大学院医学研究科・分子毒性学分野)、徐 結苟(同)、深町勝巳(同)、酒々井 真澄(同)

S3-2 ナノ粒子による突然変異原性

戸塚 ゆ加里(国立がん研究センター研究所・がん予防基礎研究プロジェクト)

S3-3 酸化チタンナノ粒子による実験発癌の促進

岡田 太(鳥取大学医学部病態生化学分野)

S3-4 アスベストによる実験発癌

豊國 伸哉、蔣 麗、胡 茜、永井 裕崇、赤塚 慎也、岡崎 泰昌、山下 依子(名古屋大学大学院医学系研究科・生体反応病理学)

S3-5 「アスベスト・中皮腫」診断法の確立・外来

樋野 興夫(順天堂大学医学部病理・腫瘍学)

11:30~12:00

指名講演

司会 北川 知行(癌研究会癌研究所)

スリランカの子ども達を介するがん予防活動

小林 博(札幌がんセミナー)  
溝上 哲也(国立国際医療研究センター研究所国際保健医療研究部)

12:00~13:00

ランチョンセミナー 2

司会 橋野 聡(北海道大学医学研究科第三内科)

新しい進行大腸がんの治療

小松 嘉人(北海道大学病院腫瘍センター)  
共催 武田薬品工業株式会社

13:00~13:45

日本がん予防学会評議員会

13:45~14:15

日本がん予防学会総会

14:20~14:55

ポスター発表

分子・実験 1

座長 白井 智之(名古屋市立大学大学院医学研究科実験病態病理学)

- P06-1 **肺癌におけるEGF 受容体チロシンキナーゼ阻害剤耐性化遺伝子モニタリングシステムの構築**  
 荒金 尚子、中村 朝美、佐藤 明美、小宮 一利、林 真一郎、木村 晋也(佐賀大・血液・呼吸器・腫瘍内科) 岩永 健太郎、嬉野 紀夫(佐賀県立病院好生館、佐賀大・血液・呼吸器・腫瘍内科) 末岡 栄三朗(佐賀大学医学部附属病院輸血部)
- P06-2 **Micro-CTを用いた肺腫瘍の悪性化に関わる因子の同定**  
 上野 俊也、武藤 倫弘、北橋 宗、寺岡 直哉、高須 伸二、中野 勝也、高橋 真美、杉村 隆、若林 敬二(国立がんセ・研・がん予防基礎研究)、谷中 昭典(東理大・薬)
- P06-3 **ヘリコバクター・ピロリ感染と高食塩食投与を併用した新規マウス胃癌モデルによる胃粘膜遺伝子動態解析**  
 豊田 武士(国立衛研・病理、愛知がんセ・研・腫瘍病理)、塚本 徹哉(藤田保健衛生大・第1 病理、愛知がんセ・研・腫瘍病理)、高須 伸二(国立がんセ・研・がん予防基礎プ、愛知がんセ・研・腫瘍病理)、時 亮(三井化学、愛知がんセ・研・腫瘍病理)、齋藤 亜弓(三重大・修復再生病理、愛知がんセ・研・腫瘍病理)、齋藤 典子(愛知がんセ・研・腫瘍病理)、立松 正衛(日本バイオアッセイ研究セ、愛知がんセ・研・腫瘍病理)、小川 久美子、西川 秋佳(国立衛研・病理)
- P06-4 **Minマウスにおける*low-density lipoprotein*受容体遺伝子欠損の腸ポリープ生成に対する影響**  
 武藤 倫弘、高須 伸二、寺岡 直哉、高橋真美、堀 美香、上野 俊也、中野 勝也、小宮 雅美、杉村 隆、若林 敬二(国立がんセ・研・がん予防基礎研究)
- P06-5 **Connexin43および glutathione peroxidase2のsiRNA導入によるラット肝細胞癌細胞株浸潤能の抑制**  
 小川 久美子、西川 秋佳(国立医衛研・病理) Pitchakarn Pornsiri、鈴木 周五、白井 智之(名市大・院・実験病態病理)

## 分子・実験 2

座長 杉江 茂幸(朝日大学歯学部附属村上記念病院病理)

- P07-1 **KK-*A<sup>y</sup>*マウスの肥満によるアゾキシメタン誘発大腸発がんの促進**  
 寺岡 直哉、武藤 倫弘、高須 伸二、上野 俊也、中野 勝也、高橋 真美、杉村 隆、若林 敬二(国立がんセ・研・がん予防基礎研究)
- P07-2 **Azoxymethane誘発KK-*A<sup>y</sup>*マウス大腸ACF生成に対するピオグリタゾンの抑制作用**  
 中野 勝也、上野 俊也、武藤 倫弘、寺岡 直哉、高須 伸二、高橋 真美、杉村 隆、若林 敬二(国立がんセ・研・がん予防基礎研究)、谷中 昭典(東理大・薬)
- P07-3 **肥満マウスにおけるアンギオテンシンII 受容体拮抗薬のAOM 誘発大腸ACF 生成の抑制**  
 高須 伸二、武藤 倫弘、寺岡 直哉、上野 俊也、中野 勝也、高橋 真美、堀 美香、杉村 隆、若林 敬二(国立がんセ・研・がん予防基礎研究)

**P07-4 AngiotensinII受容体拮抗薬Losartanによるヒト大腸癌細胞株増殖抑制効果**

塚本 徹哉(藤田保健衛生大・医・病理I、三重大・院医・修復再生病理)、時 亮(三井化学製品安全セ)、齋藤 亜弓(三重大・院医・修復再生病理)、豊田 武士(国立衛研・病理)、齋藤 典子(愛知がんセ・研・腫瘍病理)、高須 伸二(国立がんセ・研・がん予防基礎研究プ)、水谷 泰嘉(藤田保健衛生大・医・病理I)、立松 正衛(日本バイオアッセイ研究セ)

**P07-5 大腸発がんに対するLDL 受容体ファミリー発現の影響**

尾山 武、杉江 茂幸(金沢医科大学 腫瘍病理学)、田中 卓二(東海細胞研究所)

**分子・実験 3**

座長 鱈渕 英機(大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学)

**P08-1 不完全菌 *Trichothecium roseum* 代謝産物抗発がんプロモーター作用**

徳田 春邦(金沢大)、鈴木 章司、金澤 由佳、飯田 彰(近畿大農)

**P08-2 高脂肪食負荷BOP投与ハムスター膵臓における脂肪浸潤及び膵管発がんの促進**

堀 美香、高橋 真美、石ヶ守 里加子、高須 伸二、武藤 倫弘、杉村 隆、若林 敬二(国立がんセ・研・がん予防基礎研究)、北橋 宗、今井 俊夫(国立がんセ・研・実験動物管理室)

**P08-3 アミトロールによる発がん機構の解明とその予防**

及川 伸二、原田 夏菜子、杉山 浩一(三重大院・医・環境分子医学)、古川 絢子(愛知県心身障害者コロニー・発達障害研究所・病理)、川西 正祐(鈴鹿医療科学大・薬学)

**P08-4 乳酸菌はヒト末梢血リンパ球からTRAIL 産生を誘導することで、ヒト癌細胞に対する細胞傷害活性を増強する**

堀中 真野; 吉田 達士; 酒井 敏行(京都府立医大・院・分子標的癌予防医学)、甲原 純二(京都府立医大・院・消化器外科)、岸 淳子; 赤谷 薫(ルイ・パスツール医学研究センター)

**P08-5 Kuguacin J from bitter melon leaf causes cell cycle arrest and apoptosis induction in human prostate cancer cell line**

Pornsiri Pitchakarn<sup>1,4</sup>, Shugo Suzuki<sup>1</sup>, Kumiko Ogawa<sup>1,2</sup>, Satoru Takahashi<sup>1</sup>, Makoto Asamoto<sup>1</sup>, Wilart Pompimon<sup>3</sup>, Pornngarm Limtrakul<sup>4</sup> and Tomoyuki Shirai<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. of Exp. Pathol.& Tumor Biol., Nagoya City Univ., <sup>2</sup>Div. Pathol, NIHS., Japan, Laboratory of Natural Products,<sup>3</sup>Dept. of Chem., Sci., Lampang Rajabhat Univ., Thailand, <sup>4</sup>Dept. of Biochem., Med., Chiang Mai Univ., Thailand)

**分子・実験 4**

座長 西川 秋佳(国立医薬品食品衛生研究所安全微生物試験研究センター)

**P09-1 Rhamnogalacturonan II isolated from citrus peel induces anti-metastatic activity through activation of NK-cells and macrophages.**

Kwang-Soon Shin\*, Su-Bum Park, Taek-Joon Yoon<sup>1</sup>, Song Hwan Bae<sup>2</sup>, Ho Lee. Department of Food Science & Biotechnology, Kyonggi University, Korea. <sup>1</sup>Department of Food and Nutrition, Yuhan College, Korea. <sup>2</sup>Department of Food and Biotechnology, Hankyong National University, Korea.



**P09-2 Anti - metastasis of the immunostimulating polysaccharides from grape peels**

Jong - Hyun Hwang , Kwang - Won Yu , Jae - Hyun Jeong , Junsoo Lee<sup>1</sup>,  
Dae - Jung Kim<sup>1</sup>, Hyung - Joo Suh<sup>2</sup>, Sung - Hoon Oh<sup>3</sup>

Dept. of Food Science and Technology, Chungju National University, Korea

<sup>1</sup>Dept. of Food Science and Technology, Chungbuk National University, Korea

<sup>2</sup>Dept. of Food and Nutrition, Korea University, Seoul 368-701, Korea

<sup>3</sup>Dept. of Food Science and Biotechnology, Ansan College of Technology, Korea

**P09-3 Immunostimulation and anti - metastasis of submerged culture with *Hericium erinaceum* by addition of ginseng extract**

Kwang - Won Yu , Jae - Hyeon Jeong , Jong - Hyun Hwang , Hyung - Joo  
Suh<sup>1</sup>, Junsoo Lee<sup>2</sup>, Heon- Sang Jeong<sup>2</sup>, Sung- Hoon Oh<sup>3</sup>

Dept. of Food Science and Technology, Chungju National University, Korea

<sup>1</sup>Dept. of Food and Nutrition, Korea University, Korea

<sup>2</sup>Dept. of Food Science and Technology, Chungbuk National University, Korea

<sup>3</sup>Dept. of Food Science and Biotechnology, Ansan College of Technology, Korea

**P09-4 Yeast fermented ginseng extract stimulate the systemic and mucosal immunity and inhibit the tumor metastasis**

Taek Joon Yoon , Seon Yoong Jo , Dong Zhou Kang<sup>1</sup>, Dan Liu<sup>1</sup>, Kwang -  
Won Yu<sup>2</sup>, Jae - Hyun Jeong<sup>2</sup>, Hyung - Joo Suh<sup>3</sup>

Dept. of Food and Nutrition, Yuhan University, Korea

<sup>1</sup>Key Laboratory for Natural Resources, Yanbian University, China

<sup>2</sup>Dept. of Food Science and Technology, Chungju National University, Korea

<sup>3</sup>Dept. of Food and Nutrition, Korea University, Seoul 368-701, Korea

**P09-5 Immunostimulation of *Lepiota procera* and its application to prevent of tumors by combination therapy with cisplatin**

Seog - Won Lee , Taek Joon Yoon , Kwang - Soon Shin<sup>1</sup>, Dong Zhou Kang<sup>2</sup>,  
Junsoo Lee<sup>3</sup>, Hyung - Joo Suh<sup>4</sup>, Sung - Hoon Oh<sup>5</sup>

Dept. of Food and Nutrition, Yuhan University, Korea

<sup>1</sup>Dept. of Food Science and Biotechnology, Kyonggi University, Korea

<sup>2</sup>Key Laboratory for Natural Resources, Yanbian University, China

<sup>3</sup>Dept. of Food Science and Technology, Chungbuk National University, Korea

<sup>4</sup>Dept. of Food and Nutrition, Korea University, Korea

<sup>5</sup>Dept. of Food Science and Biotechnology, Ansan College of Technology, Korea

**食品 1**

座長 酒井 敏行 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的癌予防  
医学)

**P10-1 ヤムイモ成分による大腸がんの化学予防**

長澤 友樹<sup>1</sup>、馬淵 良太<sup>1</sup>、三好 規之<sup>1</sup>、田中 卓二<sup>2</sup>、大島 寛史<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>静岡県立大学大  
学院生活健康科学研究科、<sup>2</sup>金沢医科大学医学部腫瘍病理学)

**P10-2 プロポリスのヒト大腸がん細胞株に対する増殖抑制効果**

酒々井 眞澄、深町 勝巳、二口 充、津田 洋幸(名市大・分子毒性学)、酒々井 眞  
澄、石原 正志、中島 誠(岐阜薬大・分子薬物治療学)、石原 正志、伊藤 善規(岐  
阜大附属病院・薬剤部)

- P10-3 マウス胃・小腸並びに腎臓発がんおよび高温高圧処理ニンニクの修飾作用  
新保 寛、金児 孝晃、千原 猛、戸松 亜希子、別府 秀彦、園田 茂(藤田保健衛生大・七栗研)、柳田 隆正、新里 昌功、家池 勤(藤田保健衛生大・医療科学部)
- P10-4 Serratane型トリテルペンPJ-1 およびPJ-1のHybridsのがん予防作用  
田中 麗子、辻井 寛子、山田 剛司、梶本 哲也(大阪薬大・医薬品化学)、野出 學(京都薬大・薬品製造学)、徳田 春邦(金沢大学・補完代替医療学)
- P10-5 インドール-3-カルビノールとゲニステイン併用による、オートファゴソーム蓄積を伴う癌細胞死誘導  
与五沢真吾<sup>1</sup>、中村吉隆<sup>1,2</sup>、泉谷泰行<sup>1</sup>、渡部公綱<sup>1</sup>、酒井敏行<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都府立医大・院・分子標的癌予防医学、<sup>2</sup>京都府立医大・院・消化器外科学)

## 食品 2

座長 安井 由美子(酪農学園大学・獣医)

- P11-1 ヤマブドウ果汁に含有する抗炎症・抗変異原性成分の精製・同定  
有元 佐賀恵、神谷 友規、藤井 奈々、張 曉萌(岡山大・院医歯薬)
- P11-2 ガニアシ(真昆布仮根)による移植がん細胞抑制とアディポネクチン亢進について  
眞鍋昇・Kannika WONGPANIT (東京大学 農学生命科学研究科)  
杉本 達芳・綿貫 孝一(健康予防科学研究所)原 耕三(共成製薬株式会社)
- P11-3 フコキサンチノールがHL-60細胞にアポトーシスを誘導するときの標的タンパク質の追跡  
北川 小百合、岡村 岳、谷野 有佳、橋本 堂史、金沢 和樹(神戸大学大学院農学研究科)
- P11-4 ブラジル産薬用植物タバブイア・アベラネダエのがん予防作用  
○徳田 春邦、鈴木 信孝(金沢大学)山下 光明、金子 雅文(高崎健康福祉大学)  
ヘルムート バチョフスキー (Nozomi Clinic, ウィーン)飯田 彰(近畿大学)
- P11-5 FucoxanthinによるAOM/DSSモデルマウス大腸発がん抑制効果  
安井 由美子(酪農学園大学・獣医)、田中 卓二(東海細胞、金沢医大・腫瘍病理)、細川 雅史、宮下 和夫(北大院・水産)

15:15～16:25

ワークショップ「米由来物質のがん予防作用」

司会 森 秀樹(岐阜大学)

- W1-1 イノシトールリン酸による大腸がん細胞増殖抑制作用  
原 博、西岡 照洋、斉藤 憲一、石塚 敏(北大院農)鈴木 卓弥(広島大院生物圏)
- W1-2 トコフェロールとトコトリエノールの抗がん作用  
宮澤 陽夫(東北大・機能分子解析学)
- W1-3 米ぬか由来トリシンの発がん予防作用とそのメカニズム  
田中 卓二(東海細胞研究所、金沢医大・腫瘍病理)
- W1-4 発酵玄米(FBRA)によるがん予防効果  
久野 壽也・廣瀬 善信・原 明・森 秀樹(岐阜大・腫瘍病理)山田 泰広(京都大・iPS 細胞研究センター)